

陸上幕僚長 湯浅陸将 大久保駐屯地来隊



9 2 式地雷原処理車による MGB 通過



各種橋梁の架設訓練視察



儀じよう (巡問)



9 2 式浮橋の架設訓練視察

令和2年10月17日(土) 陸上幕僚長(湯浅悟郎 陸将)が、部隊視察のため、大久保駐屯地に来隊されました。 陸上幕僚長の来隊は、山崎現駐屯地以来、約3年ぶりとなります。 野澤方面總監の立会いの下、第7施設群の隊員で編成された儀じよう隊(隊長 第380施設中隊長 弘田1尉)及び中部方面音楽隊(隊長 柴田3佐)の儀じようから始まり、記念撮影、状況報告を実施しました。 その後、駐屯地内の渡河訓練場において、第102施設器材隊架橋中隊(中隊長 真島1尉)によるパネル橋 MGB、92式浮橋及び第3施設大隊本部管理中隊(中隊長 足田1尉)による07式機動支援橋の架設状況並びに92式地雷原処理車及び特大型ダンプが連続通過する状況をそれぞれ確認していただきました。



給油部隊を誘導する警務隊



燃料給油する第2高射特科群



入浴前に検温実施



入浴支援

令和2年7月4日(土)、梅雨前線による大雨の影響で、熊本県南部に土砂災害、河川の氾濫、浸水等に伴う人的被害、家屋等の物的被害が発生しました。 駐屯地所在部隊の第104施設直接支援大隊は、令和2年7月7日(火)から20日(月)までの間、中部方面生活支援隊の一部として隊員を派遣し、熊本県において入浴支援活動を実施しました。 各入浴施設では、新型コロナウイルス感染症対策として隊員のマスク・手袋の着用、利用者に対する呼びかけ、検温・消毒を行うことにも、自らの宿営地域において隊員一人ひとりが感染予防に努め、支援活動任務の完遂に寄与しました。 また、大久保駐屯地業務隊は、東部方面隊から災害派遣で移動中の第2高射特科群(千葉県松戸市)、東部方面後方支援隊(東京都練馬区)及び地理情報隊(東京都立川市)に対し、給油支援を実施しました。 この際、第131地区警務隊大久保派遣隊は、給油支援を行う駐屯地業務隊と連携し、交通誘導を実施しました。

令和2年7月豪雨による災害派遣

期待を胸に 各部隊へ！ (第7施設群及び第3施設大隊新隊員後期教育修了式)



区隊旗返還 (第7施設群)



修了証書授与 (第3施設大隊)

第7施設群は、令和2年9月29日(火)、一般陸曹候補生課程後期(施設)及び新隊員特技課程後期(施設)の、第3施設大隊は、令和2年9月27日(日)、第15期一般陸曹候補生課程後期(施設)及び新隊員特技課程後期(施設)の修了式を終えた隊員達は、施設科隊員になった喜びと期待を胸に、それぞれの教育隊を巣立ちました。 新たに配置される部隊での若さ溢れる活躍を期待しています。



感謝状を受賞した坂下氏 (写真左)

坂下会長は、「推薦していただいた皆様に感謝したい」と喜んでおられました。

陽社会会長坂下氏 中部方面總監 感謝状受賞

令和2年10月4日(日)、中部方面隊創隊60周年記念式典の開始に先立ち、中部方面總監感謝状贈呈式が伊丹駐屯地(兵庫県伊丹市)で実施されました。 大久保駐屯地の陽融会会長坂下氏から陽融会会長の坂下氏から感謝状を贈呈されました。



優勝 宇治コンドルスポーツ少年団(宇治市)



準優勝 大井カープス(亀岡市)

大久保駐屯地司令杯開催

令和2年8月30日(日)から9月27日(日)までの間、大久保駐屯地グラウンド及び宇治市周辺グラウンドにおいて、「第29回大久保駐屯地司令杯少年野球大会」が開催されました。 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策(検温・マスク着用・消毒等)のため、開会式及び閉会式は実施せず試合をスタートしました。 決勝戦は、宇治市を拠点とする「宇治コンドルスポーツ少年団」と、亀岡市を拠点とする「大井カープス」の2チームにより熱い戦いが繰り広げられ、手に汗握る接戦の結果、5対4で「宇治コンドルスポーツ少年団」が、優勝の栄冠に輝きました。 新型コロナウイルスの影響で、練習等がほとんどできない中で、選手達は自分の持っている力を遺憾なく発揮しました。 また、10月10日(土)・11日(日)に予定していた少年サッカー大会は、台風14号の影響を考慮し、安全面を最優先した結果、残念ながら中止となりました。 平成3年から始まった大会も、来年30回と節目の大会を迎えます。 今までの熱い戦いを期待します。



発行：大久保自衛隊協力会 陽融会 大久保駐屯地桃友会 45会

編集：駐屯地司令業務室 印刷：進見堂印刷

駐屯地司令要望事項 即応と信頼

紙面紹介

- 1 面
 - ・陸上幕僚長部隊視察
 - ・令和2年7月豪雨による災害派遣
 - ・中部方面總監感謝状受賞
 - ・新隊員後期教育修了式
 - ・大久保駐屯地司令杯
 - 2 面
 - ・各部隊訓練等記事
 - 3 面
 - ・各部隊訓練等記事
 - 4 面
 - ・部隊長随筆
 - ・最先任の一言
 - ・第3音楽隊巡回演奏会
 - ・各部隊優秀隊員紹介
 - ・新しく家族が増えました
 - ・編集後記
- 大久保駐屯地広報紙 「やましろ」 令和2年度 2 四半期号 No. 10

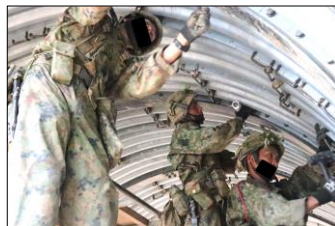
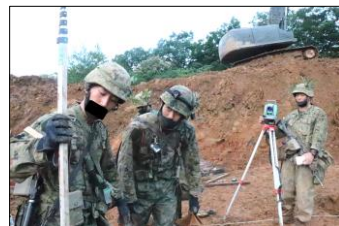
各 部 隊 訓 練 等 記 事



ライナープレートを構築する隊員



出陣式（隊員による勝関）

指揮所用軽掩蓋掩壕を構築する隊員
(第380施設中隊)測量を実施する隊員
(第380施設中隊)

地雷の埋設（道路閉塞）



07式機動支援橋の架設

アクセスノード（通信群車両）用掩壕
(第381施設中隊)指揮所用簡易掩蓋掩壕の構築
(第381施設中隊)

第7施設群

群は、令和2年7月13日（月）から17日（金）までの間、日本原演習場において、第380施設中隊の群長訓練検閲を実施しました。

本検閲は、新型コロナウイルス感染症対策のためマスクを着用する中、初日から激しい雨に見舞われ、隊員にとっては過酷な環境でした。分隊長が積極的に声掛けを行い、疲労困憊の分隊員を鼓舞し、陣地構築（指揮所用軽掩蓋掩壕4・5LP）及び障害構成（対ヘリボン障害）の任務を4夜5日で完遂し、築城中隊のプライドを示す中隊検閲となりました。

また、令和2年9月14日（月）から18日（金）までの間、日本原演習場において、第381施設中隊の群長訓練検閲を実施しました。

本検閲は、7月末の酷暑の中、事前訓練において、熱中症患者が出るほどの厳しい訓練を実施しました。検閲期間中は、昼夜間の寒暖差が激しい環境であったものの、8月に上番した新中隊長を核心として追加任務にも最後まで諦めることなく、陣地構築（指揮所用簡易掩蓋掩壕4・5LP）及び障害構成（対ヘリボン障害）の任務を4夜5日で完遂し、強固な団結を示す中隊検閲となりました。

第3施設大隊

大隊は、令和2年9月2日（水）から7日（月）までの間、あいはら演習場及び青野ヶ原演習場において大隊訓練検閲を受閲しました。

検閲に先立ち8月31日（月）、大隊は出陣式を実施しました。最先任上級曹長の気迫みなぎる勝ち関では、今から検閲に臨む隊員一人ひとりが『絶対に任務を完遂してやるぞ!』と気持ちを一つにして、9月2日（水）の状況開始を迎えました。

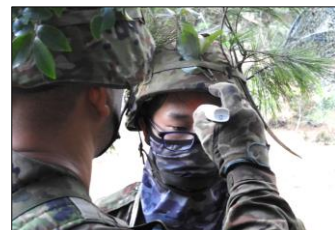
大隊本部及び各中隊は、大隊検閲に向けて昨年度から数々の訓練を積み重ねてきた中、検閲間は、30度を超える酷暑となる日が続く一方、台風10号の接近により、断続的に雨が降る厳しい状況となりました。これらの状況においても、大隊の各隊員は、昼夜問わず暑さや雨に耐えながら、自分達の与えられた任務を積極的に遂行し各中隊の連携により、師団及び各連隊の陣地構築、広域にわたる障害構成及び07式機動支援橋の架設をはじめとした交通作業を実施して、第3師団の施設力として与えられた任務を完遂しました。



作戦会議



前列左から3番目が昇任者



検閲中も検温を実施して健康管理



31/2tトラックのアクスル修理



指揮所構築



パネル橋MGBを架設する隊員



汚染地域の除染



対空射撃「撃て～!!」

第104施設直接支援大隊

大隊は、令和2年9月4日（金）から9月7日（月）までの間、大久保駐屯地及び長池演習場において、第2直接支援中隊に対する第2回大隊訓練検閲を実施しました。

残暑と呼ぶには厳しい猛暑と台風の影響による不安定な天候の中、訓練検閲に参加する第2直接支援中隊を核心として各隊員は、日々の練成訓練成果を遺憾なく発揮し、最高気温35度の中、全力を尽くして、誰一人欠けることなく任務完遂という目標に向け、中隊一丸となって邁進しました。

2夜3日の連続状況下において、作戦地域への進入や警戒を速やかに行い、被支援部隊のニーズに対応するとともに、次々と付与される整備業務に即応するとともに、野外においての整備作業は色々と制約のある中、あらゆる状況を克服し任務を完遂しました。

受閲中隊は、日頃からの訓練成果及び技能を発揮し、今検閲において多くの教訓を得ることができ、更なる部隊精強化へと前進しました。

第102施設器材隊

器材隊は、令和2年7月1日（水）に陸士長から3等陸曹への昇任を記念する行事として、漕舟（ボート漕ぎ）競技会を実施しました。昇任者は、舟長となり隊員を指揮して、一生懸命ボートを漕ぎ、陸曹としての誇りと責任を中隊の隊員に対し、顕示しました。また、令和2年7月9日（木）から19日までの間、日本原演習場において令和2年度団長訓練検閲を受閲しました。

検閲開始後、大久保駐屯地から作戦地域である日本原演習場に向け前進し、到着後本部付隊は、部隊の作戦室となる指揮所の開設・運営を実施しました。架橋中隊は、敵による破壊により橋が崩壊した地域という状況で、短時間でパネル橋MGBを架設しました。特殊器材中隊は、重機及び人力により、敵の航空攻撃等から身を守りつつ部隊を指揮する指揮所等を構築しました。約11日間に亘る検閲でしたが、梅雨の豪雨と初夏の暑さによる厳しい環境の中、度重なる敵からの妨害にも負けず、無事に検閲を終えました。

第 4 施 設 団 本 部 付 隊



愛情たっぷりのカレーを調理



河川偵察

団本部付隊は、令和2年8月18日（火）から26日（水）まで実施された、第2回団集中訓練に併せ、通信班訓練検閲を実施しました。

長池演習場において通信班は、様々な状況付与の中、企図の秘匿を重視した通信所、無線所の開設運営を実施しました。通信班長を核心に、隊員たちは積極的な掌握化に入り、それぞれの施設、車両の偽装、遮光等を万全に行い、与えられた任務を完遂しました。

駐屯地内では、団本部勤務班による指揮所、作業室の構築、通信班によるシスナガ、電話回線等の構築をそれぞれ連携しながら実施して、指揮所等の構築能力及び通信組織の構成能力向上を図りました。

隊本部は、通信班に対し給食支援を実施し、災害派遣等でも活用する野外炊具1号（22改）を使用し、愛情たっぷりのカレーを作りました。カレーを食べた隊員は英気を養い、また訓練に励みました。

偵察班は、偵察ポートを使用した河川偵察要領を実施し、各人の偵察能力の向上を図りました。

訓練を通じて、各班・組長の指揮能力向上・基礎動作について練度を向上させ、今後の練成の質を得ることが出来ました。

第 3 0 7 ダ ン プ 車 両 中 隊



露天交通壕の構築



指揮所用掩蓋掩壕の内装

中隊は、令和2年9月14日（月）から18日（金）までの間、第3小隊に対し、訓練検閲を実施しました。

受閲小隊は、検閲官要望事項である「基本基礎の確行」「安全管理」「健康管理」の3点について、終始実践し、小隊長の石田3尉を核心として指揮所用簡易掩蓋掩壕（2・5LP）、人員用簡易掩蓋掩壕（WO）及び露天交通壕を所命の時期までに完成させ、任務を完遂しました。1分隊長の小川（寛）3曹及び2分隊長の山元3曹の熱意溢れる指揮の下、分隊員も積極的に掌握下に入り、より良い構築物にしようと最後まで諦めることなく取り組む姿は、頼もしいものでした。特に1分隊長の小川（寛）3曹は、「一つ一つの課題に対し、精一杯取り組むことに懸命だった。しかし『任務完了したら終了』ではなく、本検閲で見つかった課題を克服し、自分の目指す陸曹・分隊長になれるよう、今後も努力したい」と語りました。

中隊は、本検閲の教訓を共有し、厳しい気象環境下でも任務を完遂出来るがごとく練度を獲得するよう、今後も中隊一同精進していきます。

大 久 保 駐 屯 地 業 務 隊



緊急登庁訓練（受入れ状況）



緊急登庁訓練（受付）

業務隊は、8月21日（金）及び22日（土）の両日、大久保駐屯地厚生センター内において緊急登庁支援に係る子供の面見施設開設等の実動訓練を実施しました。

この訓練は、災害派遣等に伴う緊急登庁時において子供を一時的に預かることで、部隊の即応態勢維持を図るのが目的です。今回は、2世帯5名の子供が参加し、食事や入浴、就寝要領などの一連の行動を検証しました。

まず、子供の面見施設開設の開設訓練及び子供の受入れに係る受付訓練を実施し、開設に係る隊員・所要時間、子供の携行品確認等について検証しました。また、子供の面見に係る運営訓練では、食事の掌握・補助、入浴の補助、就寝支援等について演練するとともに、安全・健康管理に留意して面倒見を実施しました。

今後も同様の訓練を継続的に実施して、国民の生命・財産を守るため、駐屯部隊の即応態勢維持及び部隊・隊員の任務遂行に寄与して行きます。

第 3 後 方 支 援 連 隊



重機関銃（HMG）設置完了



重機関銃（HMG）掩体構築

隊は、令和2年9月16日（水）から9月17日（木）までの間、青野ヶ原演習場において、第3回連隊中野営に参加しました。

本訓練は、第1四半期に実施した師団訓練検閲における是正を目的として各中隊はHMG掩体構築及び設置要領、車両行進を実施しました。

1日目は、経験が少ない陸士隊員に対して、HMG掩体構築及び設置に関する訓練を実施しました。シヨベルの使用は慣れています、HMG掩体構築の作成は、掘削量が多いので、陸士隊員達は、慣れない掩体構築を陸曹の指導の下、苦勞しながら実施しました。

暑暑厳しい中で訓練でしたが、無事に設置完了することが出来ました。2日目は、車両行進訓練を実施し、各中隊等は集結地から出発して車両間隔、スピードを保持して数秒の狂いもなく設定した各統制地点を通過することができ今訓練を終了しました。

今後も、今訓練の内容を活かし頑張っていきます。

第 3 1 8 基 地 通 信 中 隊 大 久 保 派 遣 隊



不審者の拘束訓練



野外衛生訓練

派遣隊は、令和2年9月10日（木）から18日（金）にかけて、第3回通信群集中訓練に参加しました。

本訓練の目的は、一連の状況下におけるシステム通信の構成・維持・運営を通じて部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を演練し、練度向上を図ることでした。

特に派遣隊では、敵の侵入によって作戦の要である通信が断たれることがないように通信所を警戒し、不審者の発見、拘束、引き渡し要領を演練しました。普段はクールな若い隊員も、状況に入ることでは真の戦士であり、その姿は精悍であり実に頼もしく感じられました。

駐屯地相互の通信手段の守りも万全です。万が一の交換機障害に際しても、障害対処計画に基づく電話回線補完要領を実践的に演練した結果、問題点を確認し、実状況への対応策も検討できました。

派遣隊は11月に、本年度最大の目標である方面総監訓練検閲を受閲します。今後も宜しくお願い致します。

第 3 9 7 会 計 隊



命令下達



隊容検査

会計隊は、令和2年9月22日（火）から23日（水）に実施された、令和2年度中部方面会計隊集中野外訓練に向けて、第1回及び第2回訓練を実施しました。

事前訓練として、駐屯地内において小銃用掩体構築、天幕張要領、歩哨要領の基本的事項を再確認し、翌日から長池演習場にて1夜2日にかけて、行進及び宿営、警戒、自衛戦闘の野外訓練を実施しました。

第1回訓練では、炎天下の猛暑の中での訓練となり、思うような訓練とならなかったものの、克服すべき課題も見つかり、第2回訓練へと繋ぐことが出来ました。若年隊員達は、慣れない訓練、重い装具、猛暑ということもあり、苦しい表情を見せる場面もありましたが、先輩隊員の指導及び激励の下、訓練を終了することが出来ました。2回の訓練を実施し、野外訓練の向上を図ることが出来ました。

会計業務という実任務を遂行する会計隊にとって、訓練時間の確保はかなり厳しいのが現実です。よって、実務との節調を図りつつ、野外訓練を効率的・効果的に実施することが、任務達成の基盤確立に繋がることを銘肝し、今後も業務・訓練等に邁進します。

部隊長随筆

第397会計隊長

3等陸佐 青木 春彦



「会計隊の訓練について」

会計隊の訓練実施状況を
紹介させていただきます。
過去2年間、本来任務
である会計業務を重視し駐
屯地を活用した基盤的支援
と、一部の隊員を分派して
作戦部隊に同行して支援す
る野外での随伴的支援を演
練してきました。

一部の隊員は、野外訓練
を経験できるもの、駐屯
地での訓練に参加してい
ない隊員もおり、野外訓練
を経験していない隊員の練
度向上を図らなければなら
ない状態でした。よって今
年度は、機能別訓練を各駐
屯地で実施した後、2度の
会計隊・派遣隊の合同訓練
を実施しました。

1度目は、猛暑による熱
中症患者の発生、2度目の
訓練では突然のゲリラ豪雨
と雷の為、廠舎に避難し、
状況を再開する等、十分な
練成がでないまま、方面
会計隊集中野外訓練に参
加となりました。

部隊一丸となる訓練検閲
ではありませんが、どうに
か高い評価を受けることも
図る、野外訓練能力の向上
を、今後更に、会計業務能
力及び野外能力を向上させ
信頼される会計隊を育成し
て行きたいと思っております。

最先任の一言

第318基地通信中隊
大久保派遣隊
陸曹長 上田 貴之



「変わるもの、
変わらない信念」

服務指導の根本は、
「一人」を骨幹戦力とする
自衛隊にとって、常に古
くて新しいものであると
言えます。

もとより、服務指導に
定型はなく自らの知識に
基づき、隊員一人ひとりに
に親身な指導を心掛けて
いるところです。しかし
昨今、自衛隊を取り巻く
環境は急激に変化してい
ます。若年隊員に対する
指導のあり方において、
「以前はこうであった」と
いう経験だけに囚われ
ていると本心を見誤り、
うわべだけの指導になり
がちです。社会の趨勢を
機敏に汲み取り、各隊員
と1対1の対話を繰り返
すことでより良い指導と
風通しの良い営内環境を
構築し、何でも話し合え
る和気あいあいとした部
隊育成に尽力することが
先任陸曹の務めです。
昔から変わらない基本
的な服務指導のあり方を
土台として、部隊に備わ
っている伝統とともに発
展させていくことが、各
隊員の服務意欲に対する
モチベーションを保ち、
部隊への帰属意識を持つ
ことで事故を自然消滅さ
せることが、服務指導の
中の望ましい一つのあり
方だと考えています。

各部隊優秀隊員紹介

第7施設群

| 第4次群野営（群長訓練検閲） | | |
|----------------|------------|------------|
| 最先任上級曹長 褒賞 | 群長褒賞 | |
| 副分隊長としての功績 | 保全陸曹としての功績 | 副分隊長としての功績 |
| | | |
| 坂口 3曹 | 平畑 3曹 | 原谷 3曹 |

| 第6次群野営（群長訓練検閲） | | |
|----------------|-----------|--------------|
| 最先任上級曹長 褒賞 | 群長褒賞 | |
| 施設手としての功績 | 施設手としての功績 | 施設機械陸曹としての功績 |
| | | |
| 川合 士長 | 木下 士長 | 高橋 3曹 |



第3施設大隊

| 第2次師団訓練検閲 | | |
|-----------|------------|------------------|
| 師団長褒賞 | | |
| 分隊長としての功績 | 偵察班長としての功績 | 運用訓練 陸曹としての功績 |
| | | |
| 林 3曹 | 坪松 2曹 | 奥野 1曹 |
| 分隊長としての功績 | | 分隊長としての功績 |
| | | |
| 藤井 3曹 | | 松本 3曹 |



第3音楽隊巡回演奏会



第3施設大隊所属の女性隊員と音楽隊とのコラボ

魂のこもった音楽隊の演奏「一音入魂」

令和2年7月29日（水）、大久保駐屯地において、「音楽隊の隊員個々の演奏技術及び演奏における転地訓練の基盤を確立するとともに、大久保駐屯地所在地の隊員の士気高揚を図る」を目的とした、第3音楽隊（千僧駐屯地）による巡回演奏会が実施されました。
アニメソング及びJ・POPを織り交ぜた選曲であり、その中で第3施設大隊所属の女性隊員と音楽隊とのコラボが実現し、「マリーゴールド」の演奏に合わせて歌を披露しました。
アンコールでは、自衛隊の音楽隊らしく行進曲で締めくくられました。
第3音楽隊の演奏を鑑賞した隊員は、ひと時の安らぎと元気を付けることができ、明日への活力となりました。

新しく家族が増えました

| 部隊名 | 隊員 階級・氏名 | 母親の名前 | 子供の名前 | 誕生日 |
|---------------------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| 第7施設群 (第307施設中隊) | 3等陸曹 金平 将和 | 亜希乃 | 悠 広 (ゆうひろ) | 8月18日 |
| 第307 ダンプ 車両中隊 | 3等陸曹 西村 敏克 | 智 子 | 佳織鈴 (かおり) | 6月8日 |
| | 3等陸曹 尾崎 智哉 | 佳 見 | 綾 香 (あやか) | 6月25日 |
| 第3後方支援連隊 第318基地通信中隊 施設整備隊 | 3等陸曹 三谷 晃平 | 瞳 | 達 (りょう) | 8月6日 |



駐屯地吹奏楽部による演奏

大久保駐屯地広報紙「やましろ」をご愛読の皆様、いつもありがとうございます。
新型コロナウイルスが未だ収束しない中、大久保駐屯地におきましては、引き続き感染症対策を万全にしつつ、練成訓練及び防衛警備任務を遂行しております。「やましろ」ご愛読の皆様におかれましても、季節の変わり目でもあり、「ご自愛ください」。
私個人としては、令和2年10月17日（土）に奈良県磯城郡田原本町で実施されました、「アウトドア&防災フェスティバル in 唐古・健甕跡史跡公園」に参加し、久しぶりに人前で演奏してきました。
雨の降る中のイベントでしたが、たくさんの方々が集まっていたいただき本当に楽しく演奏出来ました。今後も演奏を通じて大久保駐屯地をアピールして行きたいと思っております。
最後になりましたが、今後も大久保駐屯地広報紙「やましろ」に対し、ご支援・ご協力宜しくお願い致します。
（やましろ担当 丸山2曹）



編集後記

第7施設群一般陸曹候補生課程後期(施設)及び新隊員特技課程後期(施設)ナンバー1戦士



川上 2士

第3施設大隊第15期一般陸曹候補生課程後期(施設)及び新隊員特技課程後期(施設)ナンバー1戦士



櫻川 2士

第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊

| 第3後方支援 連隊長より メダル授与 | 中部方面 混成団長褒賞 |
|-----------------------------------|-------------------|
| 第3後方支援連隊庶務係 (伝令)として職務優秀 の功績 | 新隊員の育成に寄与した 功績 |
| | |
| 塚原 士長 | 田中 3曹 |